



南中のかぜ

学校便り 第2号

令和5年4月28日

HP: <http://www.koganei.ed.jp/~minamijs/> 小金井市立南中学校
tel:042-383-1105・fax:042-382-0405 小金井市貫井南町1-26-1



映画「破戒」を見て

校長 金井 誠

先日、公益財団法人東京都人権啓発センターが実施したイベントに参加し、映画「破戒」を見てきました。知っている人も多いと思いますが、「破戒」は、被差別部落出身者を主人公にした、島崎藤村の代表作です。「破戒」の「戒」は「戒め(いましめ=前もって注意すること。)」のことで、小学校の教員として奉職する主人公の瀬川丑松(うしまつ)は、父から出自(しゅつじ=この場合は生まれた場所、地域)を隠し通すよう強く戒められていました。物語では、この戒めと被差別部落出身者への偏見を背景に、丑松が悩み、苦しみ、悲しみ、葛藤する姿が描かれています。この物語に大きな影を落としている被差別部落とは、日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、一部の人が長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれて住まわされた特定の地域(現在は「同和地区」という言い方をします。)のことを言います。明治以降「四民平等」となったものの、令和の世の中になってもなお、同和地区の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりしている人が、実際にいるのです。

この同和地区出身者への差別等をまとめて同和問題と言いますが、前述のように、未だ解決できていません。30数年前、私が教育実習でお世話になった学校も学区内に同和地区があり、それまで私自身が学んできていなかった様々な配慮が繰り広げられていることを知りました。指導教員の先生からは、具体的に地域にお住まいの方のお気持ちについて教えていただきました。そして、今もなお、その学校の同和問題に関わる取組は継続しているのです。もっと身近なところでは、小学校教員だった私の亡父は現役時代に同和問題に取り組んでいました。大学時代に学校の図書館で好んで読んだ「カムイ伝」という長編漫画には、被差別部落の生活が生々しく描かれていました。愛読していた他の社会派漫画の中で同和問題が取り上げられたこともあり、このような経緯もあって、たまたま目にしたりリーフレットで映画「破戒」が上映されるのを知り、今回のイベントに参加することにしたのでした。

ところで、同和問題に限らず、「人権」については、今では日常の様々な場面で目にし、耳にするようになってきました。そもそも人権とは、易しい言葉で分かりやすく言うと「人が人として、社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」のことです。そして、その人権を尊重するために必要なこと(「人権尊重の理念」という言い方をします。)は、これも分かりやすい言葉で言うと「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」です。「人権」にしる「人権尊重の理念」にしる、その意味や考え方に異論を唱える人は恐らくいないだろうと思いますが、さて、実際はどうでしょう。自分の考えばかり主張して他者の意見に耳を貸さなかったり、他者の事情やルールやマナーを無視して自分の希望を通そうとしたり、そのような場面はありませんか。…生徒の皆さんには、時々、振り返ってみてほしいのです。「自分の大切さとともに他の人の大切さも認めること」。学校生活を送る上で、そして、人間として成長していく上で不可欠なことだと思います。

南中の生徒の皆さんは、よく挨拶をします。朝の「おはようございます」、帰りの「さようなら」だけでなく、日中廊下で会ったときに「こんにちは」と声をかけてくれる人もとてもたくさんいます。声は聞こえなくても、会釈しながらすれ違う人もいます。挨拶(会釈)って、相手の存在を認めているからこそするのであって、それは相手を大切にしていることと同じであると思います。「人権尊重の理念」を実践している行為だと思うのです。「挨拶ひとつで、そんな大袈裟な…」と思う人もいるかもしれませんが、人権を大切にすることの基礎が身に付いていることは間違いないと思います。また、南中の生徒の皆さんはよく拍手をします。単なる同意の意味だけでなく、発言者に対する敬意であったり、発言した勇気をたたえる気持ちであったり、そのように感じます。その人の存在をきちんと認め、大切にしているように感じるのです。南中の生徒は、きっと、人の心の痛みが分かり、差別を否定し、誰にも平等で公平に接することのできる、人権を大切にできる優しい人に育っていかれるのだろうな…、と思うのです。…私は今、「破戒」の原作を読み返しているところですが、学校内を歩いている中で生徒の皆さんと挨拶を交わし、生徒の皆さんが拍手する姿を目にして、妙にうれしさがこみ上げてきて、ずらずら書き記してしまいました。

ジャージの名前(刺しゅう)について

現在、先輩やPTAリサイクルバザーで購入した、他の人の名前が刺しゅうされているジャージを着ている生徒が多くいます。授業や生活面で指導する際に、とても困難をきたしています。他の人の名前が刺しゅうされているジャージを着ている場合は、お子さんの名前に直すようにしてください。

ジャージを販売している「山本電業社」で、刺しゅう外し400円、刺しゅう400円にて変更ができます。また、上から自分のネームを縫い付けたり、貼ったりしていただいても構いません。ご理解・ご協力よろしくをお願いします。

体育大会に向けて

担当

5月27日(土)「南中体育大会」が行われます。今年度は、感染症対策も緩和され、午後も実施します。体育委員を中心に、南中生がどのような姿を見せてくれるのか今から楽しみです。当日だけではなく、練習準備も一生懸命に行い、当日は成果を存分に発揮できることを願っています。



日	曜	行	事	日	曜	行	事
1	月	⑥カット		17	水		
2	火	専門委員会	PTA総会	18	木	⑥カット	体育大会係会
3	水	憲法記念日		19	金		
4	木	みどりの日		20	土		
5	金	こどもの日		21	日		
6	土			22	月		
7	日			23	火	⑥カット	体育大会係会
8	月	安全指導		24	水	⑤カット	体育大会予行 職員会議
9	火	避難訓練	学校運営協議会	25	木		体育大会予備日
10	水	体育大会練習始	職員会議	26	金	⑥カット	体育大会準備
11	木	内科検診	全国学力調査②	27	土		体育大会
12	金	2年合唱鑑賞教室		28	日		
13	土			29	月		体育大会振替休業日
14	日			30	火		体育大会予備日
15	月	朝礼	教育実習始 生徒総会	31	水		
16	火						